

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 28

事務事業名	安全運転講習事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市長公室		
課名	安全対策課		
課長名	田中 勝保	内線	216
担当者名	楠本 哲夫	内線	214

基本目標		安全・安心なまち
政策	030301	交通安全と消費者保護の推進
施策		交通安全の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	9	交通安全対策費
事業コード	020101	安全運転講習事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	自動車を運転する市民の運転技術の向上と交通安全意識の高揚を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	警察、交通安全推進団体と連携し、参加・実践型の交通安全運転講習会を開催し、運転技術指導及び反射材活用の啓発等を行う。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 参加・実践型交通安全講習会	計画値	2	2	2	2	
		実績値	2	2	2		
	実績数	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	②	計画値					
実績値							
成果指標	① 高齢者の講習会への参加人数	計画値	30	30	30	30	
		実績値	29	32	28		
	実績数	達成度	%	96.7%	106.7%	93.3%	
	②	計画値	0	0	0		
		実績値	0	0	0		
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	137	123	146	140	268	268	268	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	137	123	146	140	268	268	268	
② 人件費(千円)	3,059	2,753	2,509	2,625	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.35	0.35	0.35	0.35	・高齢者安全運転講習会等	・高齢者安全運転講習会等	・高齢者安全運転講習会等	
時間外勤務(時間)	139	54	20	40				
嘱託等人数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00				
フルコスト(①+②千円)	3,196	2,876	2,655	2,765				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	警察をはじめ委託先の教習所の協力のもと、高齢者の講習会において、これまでに実施してきた内容に、さらに実践的で有効と思われる内容が加わり、受講者からも好評であった。
事業が抱える問題・課題等	参加者については、各媒体を利用し、早期に募集をかけるとともに、対象が高齢者であるため、教習所までの移動手段や講習内容等についても検討していく必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	交通事故防止のための事業であり、必要性は高い。						
妥当性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	安全・安心なまちづくりのため、交通安全事業に対する市としての積極的な支援、助成は当然である。						
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	交通事故件数は、平成17年度以降ほぼ横ばいだったが、近年、若干の減少傾向にある。これは、交通指導員や交通安全指導員、母の会等の交通安全推進団体による活動のより、交通事故発生の抑止につながっているものと考えられる。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民に対し、交通ルールの順守とマナーの向上を図り、また習慣として浸透させる事業であり、効果が高い。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	子供をはじめ、市民全体を交通事故から守っているという活動に対する重みからみれば、報酬又は助成は必要であり、金額も妥当である。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	市民への負担なし						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	全国的に高齢者の事故件数が全事故件数の多数を占める中、近年、市内では、女性ドライバーによる事故の増加、また、自転車の事故については、未だ県内で最多という状況である。そこで、高齢者のみでなく、女性、自転車利用者の安全運転講習会を開催し、これらの事故の未然防止を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。